

下記の資料を回覧頂けると幸いです。

「臨床家のための運動器研究会」では、下記の**新しい会を企画**しました。

この業界には、勉強家であり、臨床実績を上げているにも関わらず、ただ自分が働いている周辺だけに自身の力を活かしている人がたくさんいると思います。

医療は貢献を重んじる業種であることから、様々な知識や技術が埋もれてしまうとしたらもったいないと感じます。

そこで今回、「学んだ知識や技術を公開する場をつくってはどうか」と思い、この**学術集会**を企画しました。

参加する人も、発表する人も、すべての人に役立つ企画になると思います。

<http://undouki.com/gakujutsu/2017-1st/>

自分の技術を広めることもできますし、またその技術を多くの療法士が活かせばたくさんの患者様の助けになると思います。

「自分の知識を多くの人に提供するための場」がないことは事実ですので、自らの知識や技術を療法士や患者様に役立てるために、この機会をご利用して頂ければと思います。

また、「私の職場のこの人の治療技術を紹介したい」という希望あれば、是非この会を利用してください。

「自分の治療を是非紹介したい！」という方はぜひぜひ下記のアドレスに、400文字程度の簡単な「要旨」を付けてエントリーの希望をお知らせください。応募の確認後、当方から詳細についてのご連絡をさせていただきます。たくさんのご応募お待ちしております。

送信先メールアドレス：undouki@ac.auone-net.jp

送信時に下記の項目を入力して頂き、平成**28年12月11日**までにご応募下さい。

【第1回 臨床家のための運動器研究会 学術集会の内容】

テーマ「歩行動作を改善するための私の治療の工夫」

日時：平成29年3月19日（日）10:00～16:00 予定

会場：牛込筆筥区民ホール（東京都新宿区）

プログラム

特別講演Ⅰ（10:10～11:10）※ すでに決定している講演です。

「入谷式エクスペンディングエクササイズとリフトアップテーピングを用いた歩行に対する評価と治療（タイトルのみ仮）」

PNF コンディショニンググループ 走 所長 太田 輝之先生

仮案：セッションⅠ（有痛性疾患）（11:20～12:05）

（※ このセッションは仮案です。このような知識・技術を公開して頂けることを切望しております。）

1. 股関節伸展制限を有する症例に対する、私の歩行の治療
2. 有痛性疾患に対する私の歩行の評価方法
3. 変形性膝関節症に対する私の歩行指導

昼休憩（12:05～13:05）

仮案：セッションⅡ（脳血管疾患）（13:05～14:05）

（※ このセッションは仮案です。このような知識・技術を公開して頂けることを切望しております。）

1. 分回し歩行に対する私の治療
2. 片麻痺患者に対する私の評価と歩行の治療
3. 歩行異常の分類と治療方法

仮案：セッションⅢ（術後・外傷後の障害）（14:05～14:50）

（※ このセッションは仮案です。このような知識・技術を公開して頂けることを切望しております。）

1. TKA 後の歩行の評価と治療
2. 大腿四頭筋の筋力低下を呈した症例に対する私の歩行指導
3. 下肢の各筋の筋力と歩行動作の関係

特別講演Ⅱ（14:50～15:50）※ すでに決定している講演です。

「歩行動作を改善するための私の工夫と概要」

関東労災病院中央リハビリテーション部 園部俊晴

閉会式（15:50～）